

公共建築賞

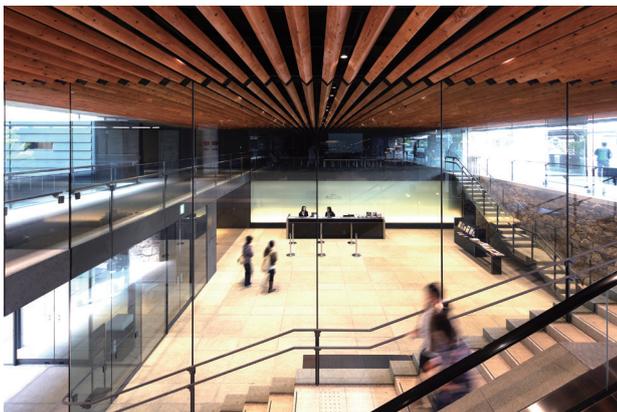
文化施設部門

(近畿地区)

龍谷大学 龍谷ミュージアム



堀川通側夕景
(撮影：東出清彦)



1階よりB1エントランスホールを望む (撮影：近代建築社)

所在地	京都府京都市下京区西中筋通下丸屋町 117
敷地面積 (m ²)	1,671.69
建築面積 (m ²)	1,342.85
延床面積 (m ²)	4,412.65
構造/階数	SRC造、S造/地上3階・地下1階
事業者	学校法人龍谷大学
設計者	(株)日建設計
施工者	(株)浅沼組
竣工年月	2010(平成22)年7月
総工事費	1,980.3百万円

「龍谷大学 龍谷ミュージアム」は、仏教の誕生から現代までの歴史や思想、美術等を総合的に収蔵、展示、研究する施設であり、中高生や外国人などの幅広い利用に供されている。

西本願寺に面する「堀川通」と門前町が広がる「油小路」に挟まれた敷地において、京都市景観条例に基づく高さ(15m以下)や形態等の規制を受け止め、エントランスホールや中庭を地下レベルに配置するとともに、堀川通側外壁には日射遮蔽も考慮した簾状のセラミックルーバーを設え、周辺と調和した切妻屋根(油小路側はセットバックして分節化)を採用している。また、1階はスパン35mのピロティ奥をガラス張りとし、来訪者や地域住民が利用でき

る多目的室、カフェ・ショップのほか、2つの道路を繋ぐ路地状の通路を設け、透明性・開放性・利便性を高めている。

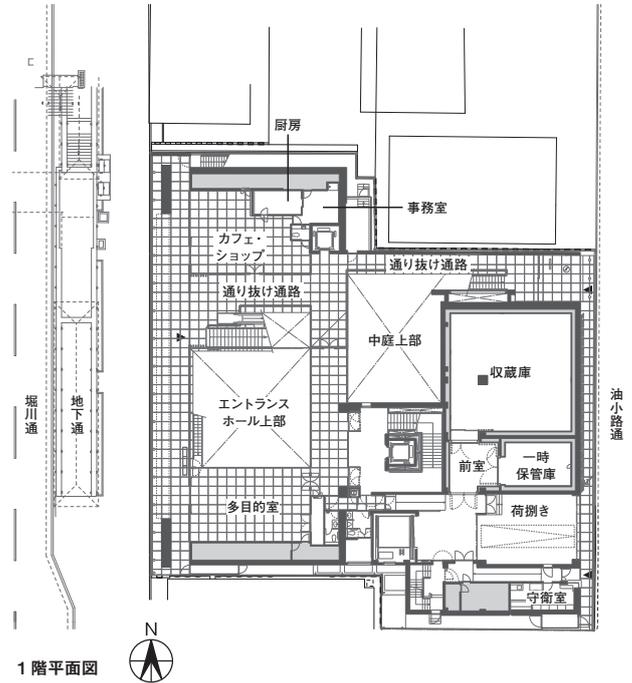
施設の根幹である展示室・収蔵庫が温湿度に配慮した二重壁構造であるだけでなく、杉間伐材や自然石、漆喰壁の利用、通路の打ち水、中庭のドライミスト、油小路沿いの犬矢来を模した駐輪ラックなど、細部まで配慮されている。

以上のとおり、秀逸な企画・計画・設計であるほか、施工も丁寧であり、維持管理も行き届いた「上品な建築物」であることから、文化施設部門における公共建築賞に相応しいと評価できる。

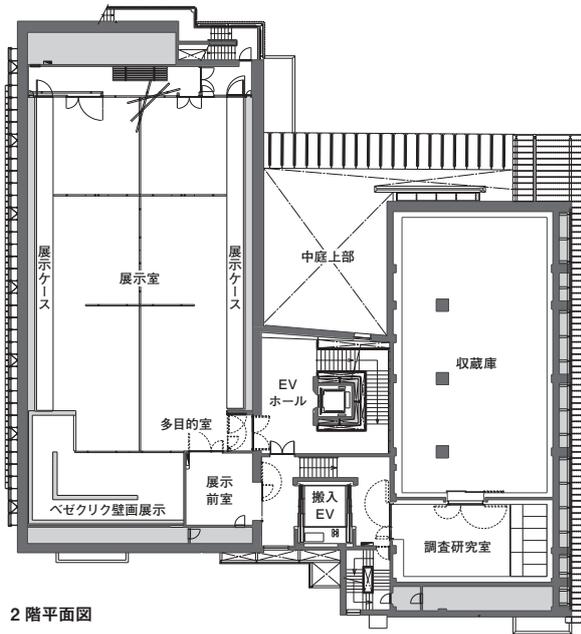
(久保田浩二委員)



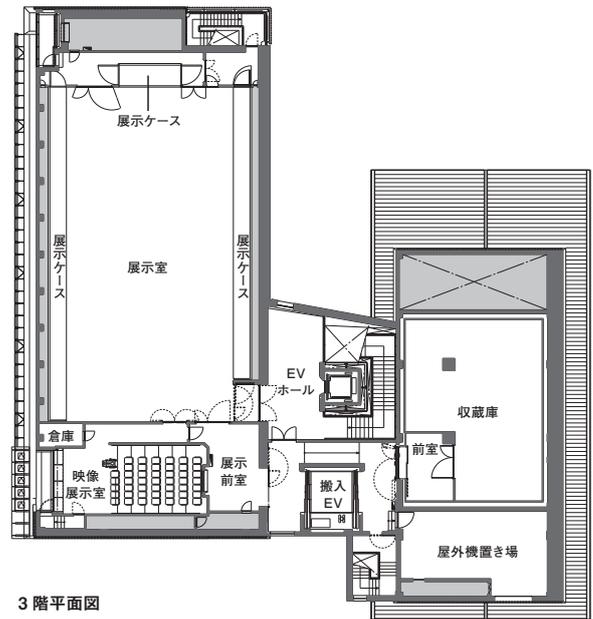
中庭から堀川通を見る



1階平面図



2階平面図



3階平面図

街に開かれたミュージアム

龍谷ミュージアムのコンセプトである「街に開かれたミュージアム」を具現化するために、正面（堀川通り側）の1階は透明感のあるガラス面の構成としています。また、敷地内に正面と裏面（油小路通り側）を結ぶ通り抜け路地を設け、収納庫を含めた裏面のバックヤードを除くゾーンは、オープンスペースとして開放し、来館者や地域の人々の憩いの場となるようにしています。この裏面は4層建てとし、周囲の民家の軒先の高さや大きさに合わせ、街並みに溶け込むようなデザインとなっています。

(木田知生・龍谷大学 龍谷ミュージアム館長)